

# 旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会 第1回資料

平成27年 1月29日

福岡市

# 0. はじめに

## (1) 旧大名小学校跡地について

### 【旧大名小学校跡地の概要】

住所 福岡市中央区大名2丁目6-11  
 面積 約11,900㎡  
 所有者 福岡市教育委員会



南側（えのき通り側）より

### ～(参考)旧大名小学校について～

明治 6(1873)年 赤坂の地に開校(当時は大明小)  
 明治27(1894)年 現在の位置に校舎を移転

昭和 4(1929)年 大名小RC造本館・付属校舎竣工  
 昭和20(1945)年 福岡大空襲により本校舎を残し全焼  
 昭和27(1952)年 児童数がピーク(2,064人)を迎える  
 ※S28赤坂小、S35舞鶴小へ分離

平成 4(1992)年 都市化の進展等に伴い各学年1クラスに  
 平成25(2013)年 創立140周年を迎える  
 平成26(2014)年 都心部の小中学校再編に伴い閉校



### ※参考(福岡市について)

明治22(1889)年 市制施行(市域約5km2、人口約5万人)  
 明治43(1910)年 市内電車営業開始  
 大正 1(1912)年 初めての町村合併

昭和21(1946)年 戦災復興土地区画整理の決定(328ha)  
 昭和36(1961)年 全国初のマスタープラン策定  
 昭和47(1972)年 政令指定都市に昇格  
 昭和50(1975)年 人口100万人突破(市域334km2)

平成24(2012)年 第9次福岡市マスタープラン策定

## ◆旧大名小学校跡地の動き

### 【現況】

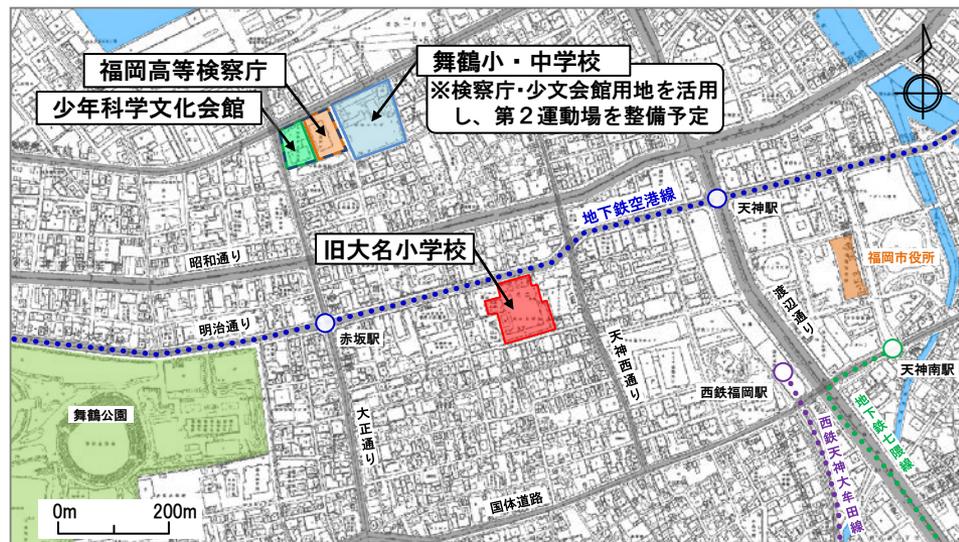
平成26年4月 新舞鶴小・中学校開校  
 旧大名小学校閉校  
 (新設校の第2運動場として運動場を継続利用)

### 【予定】

平成29年3月 平成27年度末に閉館する少年科学文化会館用地に第2運動場を暫定整備  
 旧大名小学校跡地における第2運動場の利用終了

平成29年4月～ 旧大名小学校跡地における青年センター等の解体

平成30年度以降 旧大名小学校の跡地活用が着手可能に



平成30年度以降の跡地活用に向け、基本的な考え方の整理が必要に！

旧大名小学校跡地まちづくり構想策定に着手

# 0. はじめに

## (2) 旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会の進め方

検討委員会の内容	検討委員会のスケジュール			
<p><b>0. はじめに</b></p> <p>(1) 旧大名小学校跡地について (2) 旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会の進め方</p>				
<p><b>1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項</b></p> <p>(1) 上位計画等 (2) 周辺地区の状況 (3) 旧大名小学校跡地周辺の状況 (4) 学校再編に際して地域と定めた整備事項 (5) 旧大名小学校校舎の状況 (6) 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ステップ1 (1月29日)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">先進事例の調査等</div> </div>			
<p><b>2. まちづくりの方向性の検討</b></p> <p>(1) 構想検討にあたっての基本的な視点 (2) 天神・大名地区のまちづくりの方向性 (3) 旧大名小学校跡地で取り組むべきまちづくりの方向性</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ステップ2</div> </div>			
<p><b>3. 跡地活用に向けた土地利用の考え方の検討</b></p> <p>旧大名小学校跡地で取り組むべきまちづくりの方向性をふまえ、跡地で創出する空間、土地利用(ゾーニング、空間づくり)を検討する</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ステップ3</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">パブリックコメント</div> </div>			
<p><b>4. 跡地活用に向けた取り組みの検討</b></p> <p>跡地活用に向け、今後取り組むべき事項について検討する</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ステップ4</div> </div>			

旧大名小学校跡地まちづくり構想(平成27年度早期に作成)

# 1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

## (1) 上位計画等

### ① 第9次福岡市基本計画(H24.12改定)

施策8-1 都市の活力を牽引する都心部の機能強化

施策5-3 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり

施策7-4 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり

### ② 福岡市都市計画マスタープラン都心部編(H26.5改定)

#### 【都心部のまちづくりの方向性】

アジアの活力を福岡に取り込み、九州西日本の各都市へ波及させる

#### 【土地利用の基本的な方針(天神及び天神周辺部)】

商業・業務機能の高度化を進め、国際的な魅力を高める。公開空地の活用などによる更なる賑わいの創出、出会いと交流を促す創造的な場づくり。

### ③ グローバル創業都市・福岡のビジョン素案(H26.9)

世界で活躍する企業やグローバル人材を引きつけるビジネス環境を実現する。

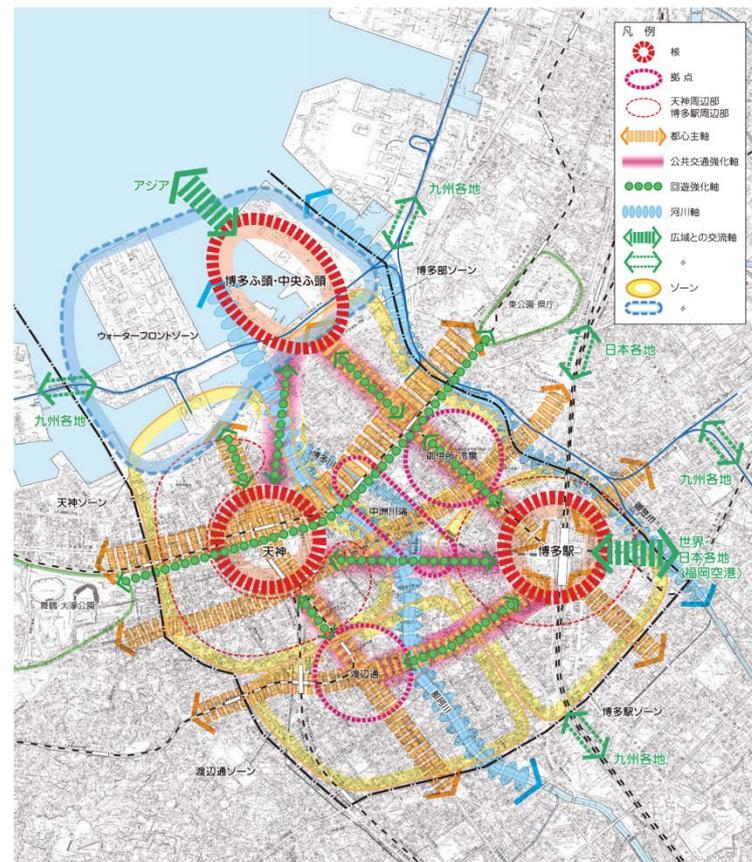
#### 【クリエイティブ街区の形成】

建築物の更新期などを捉え、多様な企業や人材が集まり、出会いと交流を促す魅力的な都市空間を備え、新たなビジネスや価値を生み出す創造的な場の創出に取り組む。

### (参考) 福岡市都市計画マスタープラン都心部編 めざすべき都市構造

- ① 都心部の中核部である天神・渡辺通、博多駅周辺の機能強化
- ② 海に開かれたアジアへの玄関口となる博多ふ頭・中央ふ頭の機能強化
- ③ 都心主軸を骨格とし、各地区が一体となった都心部の機能強化
- ④ 核や拠点をつなぐ都心部回遊軸の強化
- ⑤ 個性を生かした拠点の機能強化と、住み続けられる都心部づくり

#### ■ 都心部の将来の都市構造



# 1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

## (2) 周辺地区の状況

### 新舞鶴小・中学校

- ・大名小、舞鶴小、箕子小、舞鶴中の3小学校1中学校を統合再編し、小中連携校として、旧舞鶴小学校地でH26.4に開校。
- ・隣接街区の検察庁や少年文会館の移転に伴い、運動場等を整備する予定。



### 舞鶴地区

- ・居住・商業・業務が複合するエリア。
- ・H26.4の新舞鶴小中学校の開校に伴い、都心居住の受け皿として、注目されている。

### 大濠公園・舞鶴公園地区

- ・福岡を代表する約80haもの貴重な緑地空間であり、国史跡鴻臚館跡・福岡城跡にも指定された歴史を感じる場所である。また、美術館・能楽堂など芸術文化施設も有している。

### ◆セントラルパーク構想

大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場として歴史、芸術文化、観光の発信拠点となる公園づくりを目指す。(H26.6策定)



■全景



■多くの来訪者を集める福岡城さくらまつり

### 大名地区

- ・居住・商業・業務が複合するエリア
- ・ファッションや飲食をはじめとする小規模な店舗やオフィスが立地するなど若者や女性などが活躍するエリア。
- ・個性的なビルや店舗、オフィスなどが多くみられる。



■個性的なビル



■カウンタを活用したショップ



■猫カフェ

### 天神西通り

- ・近年ファストファッションなどの商業施設が連続して立地し、賑わいを創出



■天神西通り

### きらめき通り

- ・沿道の民間開発と合わせ、地上地下の魅力ある歩行者ネットワークが整備されたことにより、新たな人の流れが創出され、天神地区有数の歩行者通行量となっている。



■きらめき通り(地上部)



■きらめき通り(地下部)

### 明治通り

- ・天神地区と大濠公園・舞鶴公園地区をつなぐ幹線道路。天神地区と外のエリアをつなぐメインストリートの一つであり、福岡を代表するビルが集積している。
- ・特に天神1.2丁目では、地権者等で構成される天神明治通り街づくり協議会が設立され、ビルの更新期を捉えた計画的なまちづくりに取り組んでいる。

### ◆天神明治通り街づくり協議会の取り組み

- ・区域 明治通り沿道17ha
- ・構成 地権者など36者
- ・取組み ビルの老朽化などにより地区全体が更新期を迎える中、「アジアで最も創造的なビジネス街」をめざし、円滑な機能更新、機能強化と魅力づくりに資する計画的なまちづくりに取り組んでいる。



■将来イメージ

### 天神地区

- ・広域交通の拠点となる天神駅や大規模な商業施設が立地し、九州屈指の商業集積エリアとして、国内外の観光客も多く訪れる。

### ■渡辺通り(商業施設の集積)



■賑わう天神地下街



### 警固公園

- ・天神地区の貴重なオープンスペース(約1.1ha)
- ・都市の憩いと賑わいを創出する空間として、H25.12に再整備を実施

### ■多目的オープンスペースを備えた公園としてリニューアル



# 1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

## (3) 旧大名小学校跡地周辺の状況

### 明治通り沿道状況

天神地区と外の地区をつなぐメインストリートの一つであり、比較的規模の大きなビル等が集積し、風格のある街並みを形成している。



天神地区と外の地区を繋ぐメインストリートの一つであるが、公共施設などが多く、低層部の賑わいが乏しい

### 大名紺屋町通り



### 大名地区の特長的な活動

#### ◆紺屋2023

クリエイターが入居し、アート・演劇などの活動も行われるリノベーションビル



#### ◆エンジョイスペース大名

古民家を活用したレンタル多目的スペース



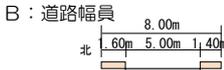
#### ◆石井ビル

クリエイターやカフェなどが入居するリノベーションビル



### えのき通り沿道状況

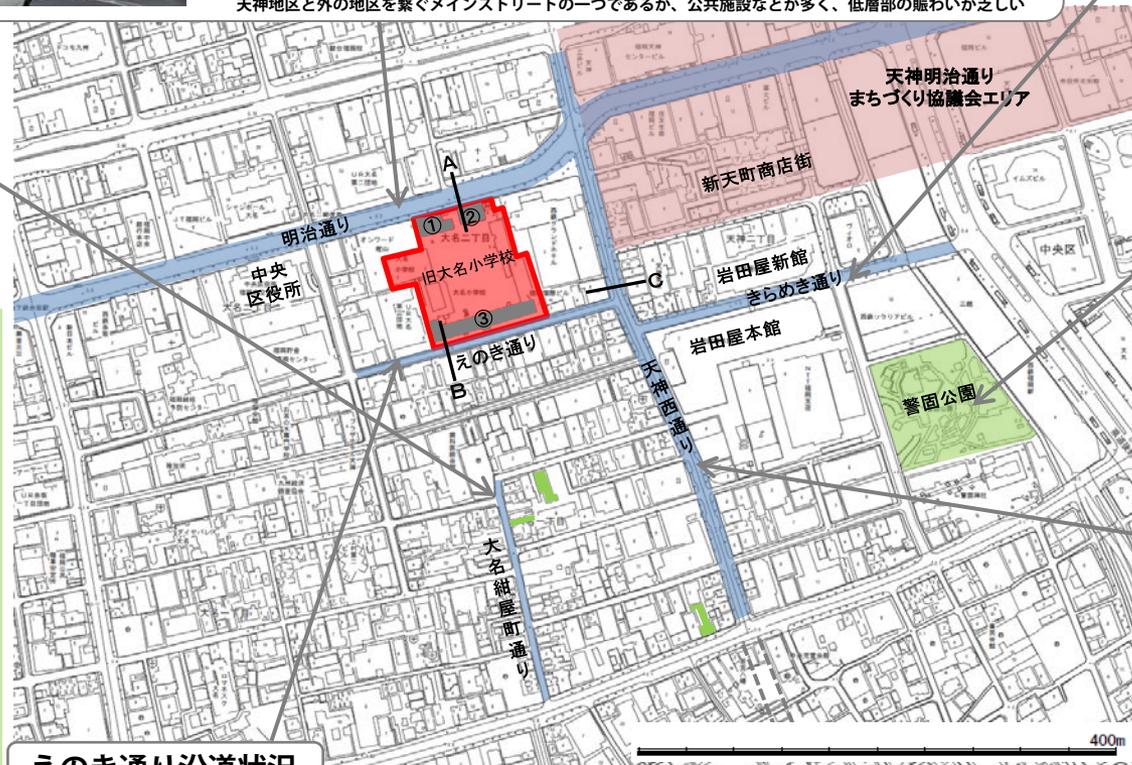
ヒューマンスケールで、歩いて楽しい界隈性のある街並みを形成している。



賑わいを創出する沿道の店舗

低層階を店舗とした小規模なビルが多い

休日の賑わい



### 賑わいを創出する取組

公園や公開空地などを活用した賑わい創出の取り組み

#### ◆きらめき通り



活用状況 FUKUOKA STREET PARTY H26年11月(WelLove天神協議会等)



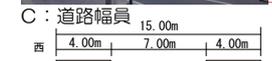
#### ◆警固公園



活用状況 クリスマスイルミネーション 毎年12月(WelLove天神協議会)



### 天神西通り



# 1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

## (4) 学校再編に際して地域と定めた整備事項

→学校再編にあたり旧大名小学校跡地の整備について  
大名校区と福岡市で定めた項目

※大名小学校跡地については、地域の意見もふまえ、今後福岡市において跡地利用計画を策定する。なお、地域より要望のあった整備項目については、当該跡地利用計画の中で順次実施する。

○現在の運動場と同等面積の広場を整備し、校区行事の場所や災害時の避難場所として利用する。



・旧大名小運動場（約3,000㎡）

○歴史ある大名小学校の面影を残すため、校舎の一部を保存し、災害時の避難場所や校区住民の交流の場としても利用できる多目的な空間を整備する。



・旧大名小南校舎(昭和4年建築)

○中央消防署大名出張所の配置換えにあわせ、大名公民館を移転改築する。



・明治通りに位置する  
現大名公民館（3～4階部分）  
※中央消防署大名出張所との複合施設

## (5) 旧大名小学校校舎の状況

→旧大名小学校校舎の状況

### ◆南校舎の概要

#### 配置図



#### 概要

- ・建築年代：昭和4（1929）年
- ・構造：鉄筋コンクリート造, 3階建
- ・建築面積：約1,000㎡
- ・延床面積：約3,000㎡

#### 文化財的評価

### 福岡市立大名小学校校舎に関する文化財的評価のための調査 (平成22年,23年実施：報告書抜粋)

#### ○校舎の文化財的価値について

- ・昭和4年竣工の鉄筋コンクリート造で、福岡市では九大の諸建築に次ぐ4番目の古さを誇るなど、稀少価値は高い
- ・階段や廊下まわりの細部に残るアール・デコ様式は、昭和モダンの表情をみせる大名地区において、大名小学校の昭和初期のデザインが落ち着いた町の性格を際立たせている

#### ○旧大名小活用の可能性（活用方針について）

- ・文化財としての稀少価値は高く保存が望まれるものであり、校舎は可能な限り現状維持が理想であるが、校舎活用に際しての用途変更は不可欠であるため、オリジナルと改造部分とを明確に区分するとともに、玄関を含めた階段周りについては、建築当初への復元が望ましい。
- ・校舎保存の観点のみではなく、災害時の避難場所としての役割等を考慮するなど、校舎の取扱いについては、慎重に検討する必要がある。

#### 写真



正面全景(えのき通りより)



特徴的な中央階段



廊下



アールデコ調の意匠が残る  
階段まわり

## 1. 旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

### (6)旧大名小学校跡地活用において検討すべき事項

**項目①** 福岡市の成長の活力源となる都心部において  
求められる新たな機能の導入

**項目②** 回遊性を強化する取り組み

**項目③** 学校再編に際して地域と定めた整備事項

**項目④** 昭和4年建築の南校舎の活用

・  
・  
・

## 2. まちづくりの方向性について

### (1)構想検討にあたっての基本的な視点

**視点①** 大名地区や天神地区の拠点性の強化など地区  
特性を生かした更なる魅力づくり  
(創造的な場づくりなど)

※重要となるキーワード

- ・都心部における貴重な空間である「旧大名小学校跡地」
- ・都心部に求められる新たな機能の導入の可能性
- ・土地利用転換のタイミングを捉えたまちづくり など

**視点②** 新たに創出する土地利用と校舎等の有効活用が  
一体性を有するように検討する

**視点③** 民間活力の誘導を図り、官民連携でまちづくりに  
取り組む

・  
・  
・

## 2. まちづくりの方向性について

跡地活用において検討すべき項目を実現していく上での、まちづくりの視点について検討する

### 参考事例1:丸の内ブリックスクエア(東京都千代田区丸の内)

#### 事例の特長

- 歴史的建物を活かした都市開発
- 広場を中心として一体的な賑わいを創出する空間づくり
- 魅力ある歩行者動線を確保することで回遊性を強化

#### ■名称

**丸の内ブリックスクエア (三菱一号館含む)**

#### ■施設概要

- ・JR東京駅徒歩5分
- ・2009年春丸の内パークビル、2010年春三菱一号館オープン
- ・**1894年に建設された三菱一号館 (ジョサイア・コンドル設計)を復元し、美術館やカフェとして活用**
- ・敷地面積 約11,900㎡
- ・**丸の内パークビル**  
地下4階地上34階 延床面積約199千㎡  
低層階を商業床とするオフィスビル
- ・**三菱一号館**  
地下1階地上3階 延床面積約6千㎡  
美術館・カフェなど

※三菱一号館美術館HP、ウィキペディアより抜粋



全景



復元された三菱一号館



エントランス



広場



広場に隣接したカフェ

### 参考事例2:アーツ千代田3331(東京都千代田区神田)

#### 事例の特長

- 廃校となった中学校校舎への新たな機能(アートセンター)の導入
- 校舎と隣接する公園の一体利用により創出される交流空間における新たな価値創造の場づくり

#### ■名称

**アーツ千代田 3331 (あーつちよださんさんさんいち)**

#### ■施設概要

- ・地域に開かれた新しい**文化芸術活動の発信拠点**として、H17.3に閉校となった**練成中学校を利活用**しH22.6に開業
- ・運営主体は民間団体(合同会社コマンドA)、施設は千代田区所有
- ・隣接する**練成公園と校舎をウッドデッキでつなぎ**、開放的な空間に整備
- ・コミュニティスペース、ギャラリー、カフェ、ショップ、クリエイターのオフィスなどが入居し、展覧会鑑賞、イベントやワークショップへの参加、作品購入からショップでの買い物など、誰でも気軽に利用できる
- ・**入館者数170万人を超え約1,000の活動が誕生**(H24.12現在)

※アーツ千代田3331HPより抜粋



公園から見た全景



メインギャラリー



ショップ



1階コミュニティスペース



イベントスペース



公園を利用した活動